

# 森の木ランタン（行灯）

場所	クラフト室		
時間	2時間～2時間30分		
値段	料金表参照		
季節	年間	人数	クラフト室 席数48
準備物	<p>【利用者】ぞうきん、活動に適した服装、救急</p> <p>【自然の家】材料（間伐材）、ドリル刃 5.5mm、和紙の折り紙、LEDライト、モール10cm）テントの型紙、ホットボンド、ホットボンドスティック、（木工用ボンドでも）マジカルサンダー、万力、ノコギリ、小刀、ボール盤、ハサミ</p>		

## プログラムの概要・ねらい

輪切りにした木と拾った木の枝3本、和紙の折り紙で三角テントを作る。テントの中でLEDライトを点灯させれば、森の中のテントから明かりがともったような「ランタン（行灯）」が出来上がる。家に持ち帰り、暗いところでランタンを点灯させれば、自然の家の思い出がよみがえる。※ノコギリを使って間伐材（丸太）を切る作業あり。

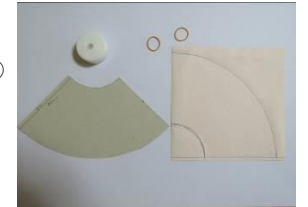
## ①準備

材料とクラフト室倉庫の鍵をサービスセンター受付で受け取る。※材料数を確認する。窓を開け、部屋の換気を十分に行う。工具の確認をする。

## ②実施の流れ

### 【時間】

- 0:00 屋外へ出て、木の枝（ $\phi 8\sim 10\text{mm}$ くらい、長さ18cmくらい）を3本拾ってくる。その際、生きている草花を必要以上に採集しないように指導する。（枝は長いものを拾って、室内で切っても良い。または前もって枝を拾っておけば時間短縮になる）
- 0:30 材料の間伐材（直径8cm程度）を万力固定し、ノコギリで厚さ1～2cm程度に輪切りにする。（写真①）
- 1:00 切った木の切断面をマジカルサンダーでよく磨く。マジックテープが付いている面に、ヤスリを貼り付けて使用する。荒削り用（濃茶色）→仕上げ用（薄茶色）
- 輪切りにした木に、ドリルかボール盤で3か所穴をあける（枝が入る大きさと、正三角形になるような位置に（5.5～6cm））。3本の枝先をモールでくる。
- 片方の枝先を小刀で削り、3か所の穴に差し込み、ホットボンドで貼り付ける。（写真②）これでテントの骨組み完成。
- ※ホットボンドを使用する場合は、机の上に新聞紙を敷く。
- ※ホットボンドの先端部分は高温になっているので取り扱いに注意する。
- 1:40 和紙の折り紙にテントの型紙で型をとり、はさみで切る。ノリ付けして円すい状のテントを作る。（写真③）
- テントの骨組みに和紙テントをかぶせ、LEDライトを下において点灯させれば出来上がり。（写真④⑤）
- 2:00 片付け
- 終了
- ※注意が必要な動植物があるので確認し、スズメバチや毒ヘビに遭遇した場合の注意を徹底する。（別紙 注意が必要な動植物参照）



## ③後片付け

ぞうきんと備え付けの掃除用具を使い、掃除をする。※机と床の水拭きを必ず行う。（掃除の仕方についてはクラフト室の掲示参照）

工具、部屋等の破損があった場合は、サービスセンター受付へ申し出る。

クラフト室倉庫の鍵、余った材料はサービスセンター受付へ返却する。